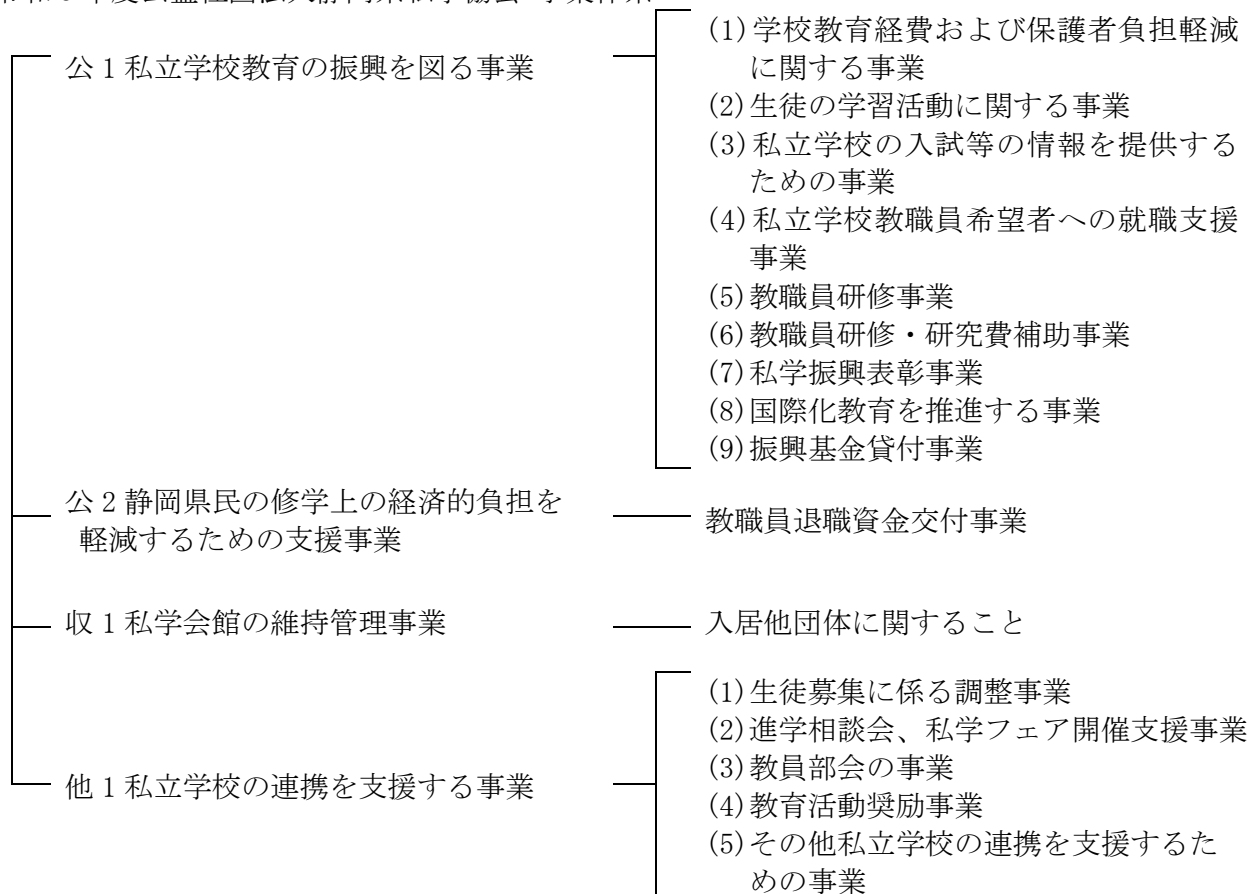


I 事業報告

私立小・中・高等学校は、公教育の一翼を担い、県内高校生 32,814 名(37%)、中学生 5,106 名(5%)、小学生 1,804 名(1%)が在籍しております。

本会は、私学教育の総合的な支援機関として、私立学校の教育環境、安全確保、教職員の資質向上等の私学振興事業を通して、私立学校教育の振興を図り、あわせて県民の修学上の経済的負担を軽減するための事業を引き続き展開しています。

令和 5 年度公益社団法人静岡県私学協会 事業体系



◇ 1 <私立学校教育の振興を図る事業>

1. 学校教育経費および保護者負担軽減に関する事業

県内私立小学校、中学校、高等学校が行政に求める公的支援に関する要望の調査及び関係する情報収集を行い、委員会等において公益及び公平の観点からの検討と具体的な要望の取りまとめを行い、要望書、陳情書等として静岡県並びに静岡県議会及び県選出国會議員等に届ける事業を行っている。

- (1) 会員校理事長・校長会における各学校の要望調査
- (2) 他都道府県の私学助成に関する情報収集
- (3) 補助金制度委員会及び運営役員会における要望内容の検討
- (4) 行政機関及び議会等への陳情及び要望(資料 1)

- ・ 県内選出国會議員への陳情 令和 5 年 8 月 2 日(水)、10 月 31 日(火)
- ・ 静岡県への陳情

令和 5 年 11 月 15 日(水) 静岡県私学保護者会、静岡県私立幼稚園振興協会及び静岡県職業教育振興会と合同で、静岡県知事、副知事、スポーツ・文化観光部長、政策推進担当部長、県議会議長、副議長、静岡県私学振興議員連盟等に要望書を持って陳情をした。

また、昨年度同様に私立学校に対する国の地方創生臨時交付金「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が増額したことから、令和5年5月25日(木)と9月21日(木)に光熱費等の補助を求めた要望書(資料9・10)を県知事に対して提出した。この結果、6月補正予算および9月補正予算において「私立学校物価高騰対策支援金」が生徒ひとりあたり合計2,500円交付(全日制)された。

12月21日(木)に静岡県教育長へ特別免許状の授与の運用に関する要望をした。(資料11)

(1) 私学振興ふじのくに大会の開催

令和5年11月15日(水)ホテルグランヒルズ静岡において、静岡県並びに静岡県議会の私学振興議員連盟役員11名を招き、本会、静岡県私学保護者会、(一社)静岡県私立幼稚園振興協会及び(公社)静岡県職業教育振興会の関係者約1,100名が出席して開催した。

令和5年度 私学振興ふじのくに大会次第

1 開 会

2 開会のことば 静岡県私学保護者会 会長 池 間 健 二

3 主催団体代表挨拶

公益社団法人静岡県私学協会 理事長 仲 田 晃 弘

一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会 理事長 千 葉 一 道

公益社団法人静岡県職業教育振興会 会 長 鈴 木 啓 之

4 祝 辞

静岡県副知事 出 野 勉 様

静岡県議会副議長 鈴 木 澄 美 様

5 来賓紹介

6 大会決議 静岡県私学保護者会 副会長 井 草 雅 彦

静岡県私立幼稚園PTA連合会 副会長 竹 本 あ き

— 来賓退席 —

7 県議会議員挨拶

8 閉会のことば 静岡県私立幼稚園PTA連合会 会長 大 石 美 帆

9 閉 会

大 会 決 議

静岡県は、「誰一人取り残さない教育」に取り組むことで、全ての人が自らの夢を実現でき、幸せを実感できる地域社会の実現を目指しています。変化の激しい今の時代にあって、将来を担うすべての子供たちに幸せな未来と夢と希望を与えることは、地域社会全体の責務でもあります。

静岡県には、私立幼稚園・認定こども園229園、私立小・中・高等学校75校、専修・各種学校73校があり、それぞれが特色ある教育を推進しています。私立学校には、地域社会や保護者の求めに応じて子供たちの可能性を引き出すための魅力ある多様な教育を行うことが求められていますが、そのためにはまず学校の経営基盤の安定が不可欠です。

現在、幼児教育の無償化や私立高等学校及び私立高等専修学校の授業料の実質無償化などの保護者に対する負担軽減が拡充されつつありますが、少子化に加えて国際情勢に伴う物価高騰は私立学校に多大なる影響を与えており、教育環境の改善や教育施設の整備を行う上での大きな負担となっています。

保護者は、様々な学校の選択肢の中から、私立学校独自の教育方針に賛同し、子供たちの自己実現のために私学に学ばせておりますが、経済的にゆとりのある家庭ばかりではありません。是非とも家庭の経済状況により自由な学校選択が妨げられることのないよう、また私立学校に通う園児・児童・生徒がよりよい教育環境で学ぶためにも、私立学校に対する財政支援について一層の充実を求めます。

私たち私立学校は、公教育の大きな担い手であって、静岡県の未来を拓く推進力であることを、ここに強く訴えるとともに、次の事項を決議します。

令和5年11月15日

令和5年度は、国の私立高等学校就学支援金と静岡県私立高等学校授業料減免制度の補助対象が拡充され、私立高等学校の授業料は、保護者の世帯収入が概ね700万円未満は全国平均授業料水準まで、同820万円未満は全国平均授業料の2分の1水準まで減免されました。

本年度、この補助対象の更なる拡充と、私立学校経常費助成の補助単価及び総額の増額を重要な課題と位置付け事業を行いました。

この結果、令和6年度の県の私立高等学校授業料減免制度の2分の1補助の範囲が820万円から850万円に拡充され、この対象者が全体の81.1%となる見込みです。

また、令和6年度の私立学校経常費助成の児童・生徒一人当たりの補助単価は、以下の通りになります。

令和6年度私立高等学校等経常費助成児童・生徒ひとり当たり単価 単位:円

	国庫補助	地方交付税	県単独補助	合計
高等学校	58,448	299,700	40,300	398,448
中学校	51,157	298,900	9,450	359,507
小学校	49,546	298,900	10,450	358,896
通信制	17,655	64,250	1,900	83,805

(2) 委員会等における私学助成拡充の要望事項と検討

- ・補助金制度研究委員会の開催 令和5年9月20日(水)

関係資料

- ・静岡県私立高等学校等振興対策費補助等に関する要望(資料1)
- ・令和2年度～令和6年度静岡県私立学校関係予算額一覧(資料2)
- ・令和6年度県内私立高等学校(全日制)の就学支援金及び授業料減免制度資料(資料3)

2. 生徒の学習活動に関する事業

県内私立小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒募集計画及び志願状況、生徒募集環境、児童・生徒数の動向、入試に係る取り決めや枠組み、各校の児童生徒収容状況、他都道府県の生徒募集に係る情報等を調査、資料収集し、必要な分析等を行い、その結果を公表する事業を行っている。

(1) 県内私立小・中・高等学校の生徒募集計画の取りまとめとホームページ等による公表

- ・会員校の小学校・中学校・高等学校の令和6年度生徒募集計画を取りまとめ公表した。

「私立小学校の令和6年度児童募集一覧及び編入学情報」

「私立中学校の令和6年度生徒募集一覧」、8月に報道機関に情報提供

「私立高等学校の令和6年度生徒募集一覧」、11月に報道機関に情報提供

- ・私立学校の募集計画に関する問い合わせ等に対応した。

(2) 県内私立中学校・高等学校の令和6年度生徒募集結果の取りまとめとホームページ等による公表

「私立中学校の志願状況」、1月に報道機関に情報提供

「私立高等学校の志願状況」、2月に報道機関に情報提供

「私立学校の生徒募集結果及び入学状況」

(3) 委員会等における入試結果等の検討分析

- ・入試検討委員会の開催

令和5年4月21日(金)、令和5年7月20日(木)、令和5年12月20日(水)

(4) 関係機関への提言

- ・静岡県校長会等と入試に関する意見交換等を行った。

3. 私立学校の入試等の情報を提供するための事業

私立学校を選択する際に有用となる情報を提供し、その相談に応じ、必要な助言を行う事業を行っている。

(1) 小学校、中学校等を通じた私立学校の教育の特色等を紹介する印刷物の配付

- ・2024 静岡県の私立学校(冊子)印刷発行及び配布 3,600 部

(2) 小学校、中学校等を通じた私立学校の生徒募集情報一覧等の印刷物の配付

- ・静岡県の私立中学校 2024(リーフレット)の印刷発行及び配布 17,600 部

- ・2024 静岡県私立高校入試の手引き(リーフレット)の印刷発行及び配布 34,000 部

- (3) インターネット、新聞等を媒体とした私学教育に関する共通情報の提供
 - ・私立学校の紹介、入試情報等をホームページで提供した。
 - ・私立学校が行う入試説明会、体験入学等の情報をホームページで提供した。
 - ・私学教育に関する新聞広告
- (4) インターネット、新聞等を媒体とした私立学校の生徒募集及び志願状況等の情報提供
- (5) 学費に関する調査及び調査結果の情報提供
- (6) 電話、電子メール等による相談への対応
- (7) 県民が学校を選択する際に必要となる情報を報道機関、ホームページを活用して提供
- (8) 就学を支援する制度等に関する情報の提供
- (9) 広報委員会の開催
 - ・令和5年5月9日(火)

4. 私立学校教職員希望者への就職支援事業

県内私立学校の求人情報を公表し、その相談に応じ、教員希望者情報を取りまとめることにより、県内私立学校の教員確保に関する事務負担を軽減し、合わせて優秀な教員人材を確保するため、次の事業を行っている。

東京私立中学高等学校協会が令和5年度をもって適性検査を終了することから、私学教員採用総務委員会および会員校理事長・校長会で検討した結果、令和6年度より本会単独で実施することが決定した。

- (1) 私学教員適性検査事業
 - ・令和5年8月27日(日) 常葉大学附属常葉中学校・高等学校において実施した。
 - 志願者 166 名、受検者 146 名、受検率 87.95%
 - ・受検者の登録情報を必要とする私立学校に提供した。
 - ・この制度を周知する広報活動を行った。
- (2) 教員希望者への相談及び履歴書預かり事業
 - 登録者 57 名
- (3) 県内私立学校の求人情報をホームページで提供している
- (4) 私立学校への就職に関する相談に応じる業務を行っている
- (5) 私学教員採用総務委員会の開催
 - ・第1回 令和5年4月17日(月)
 - ・第2回 令和5年7月3日(月)
 - ・第3回 令和5年9月27日(水)
 - ・第4回 令和6年2月26日(月)

5. 教職員研修事業

- (1) 基本研修の実施 7回 参加者(延)376名

研修会名	実施日
新任教職員研修会	4月20日
初任者研修会	7月24日～7月25日
5年教員研修会	9月12日～9月13日
10年教員研修会	6月13日～6月14日
リーダー研修会	11月16日～11月17日
特別支援教育研修会	1月29日
人権教育研修会	5月15日

- (2) 専門部会(教科)研修の実施 10回 参加者(延)241人

研修会名	実施日
国語科	10月30日(授業研・新任研)
地歴・公民科	10月3日(初任研)・11月28日(巡検)
数学科	10月25日(授業研・新任研)

理 科	6 月 8 日 (新任研)・11 月 21 日 (教員研修)
英 語 科	11 月 14 日
保 健 体 育 科	4 月 25 日 (主任者会議)・11 月 9 日 (教員研修)・ 12 月 12 日 (新任研)

(3) 専門部会(教科外)研修の実施 17 回 参加者(延)565 名

部会名	実 施 日
学校経営	9 月 22 日
教 頭	9 月 22 日 (県外視察)・12 月 1 日
教育課程	6 月 23 日・11 月 6 日～7 日 (県外視察)・11 月 24 日
生徒指導	11 月 7 日
学校教育相談	1 月 16 日
進路指導	6 月 2 日・11 月 10 日
学校図書館	6 月 27 日 (研修会)・生徒読書感想文コンクール、POP コンクール、ビブリオバトル交流会を実施
初等教育	10 月 21 日
学校事務	10 月 16 日 (事務長研修)
防災安全教育	8 月 3 日 (救命講習)・10 月 26 日
中学校教育	11 月 10 日
I C T 教育	11 月 8 日

(4) 県高等学校教育研究会との連携

学校図書館部会が公立学校教員への公開研修会を開催した。

本年度は、本会研修会への公立学校教員の参加実績はなかった。

(5) 会議の開催

・研修委員会の開催

教職員研修事業を推進するため、委員会を 2 回開催し次の事項の協議決定と研修会の企画実施にあたった。

ア. 研修事業の基本方針について

イ. 基本研修会の実施

ウ. 公的機関の主催する研修会等派遣費補助交付申請に対する審査決定

エ. 教科(6 部会)及び教科外(12 部会)の各専門部会の研修事業報告及び事業計画の承認

第 1 回 令和 5 年 5 月 10 日 (水)

第 2 回 令和 6 年 1 月 19 日 (金)

・専門委員会等の開催

各部会が委員会を開催するなどして研修を企画した。

(6) 中部地区私学教育研修会三重大会

中部地区私学教育研修会三重大会に関係者が参加した。

6. 教職員研修・研究費補助事業

(1) 研究発表等奨励補助

公的機関の実施する研修会において、研究発表を行った者に対して補助金を交付した。

対象者 4 名

(2) 公的機関の主催する研修会等派遣費補助

県内私立小・中・高等学校の校長及び教職員が、文部科学省、静岡県教育委員会、私学研修福祉会、日本私学教育研究所等の公的機関の主催する研修会、研究会、講座会等へ参加した場合に派遣費の一部を補助し、私学教職員の資質向上に資する事業を実施した。補助件数 167 件

7. 私学振興表彰事業

(1) 私立小・中・高等学校の生徒を表彰する事業

・奨励賞 文化・体育表彰

文化活動・スポーツ等において特に優秀な成績を上げた者を表彰した。

団体 63 件 ダブルス 9 組 個人 103 人

・奨励賞 生徒・児童の一般表彰

在学中他の模範となった生徒を表彰した。

静岡県私学協会 理事長表彰 370 人

日本私立中学高等学校連合会 会長表彰 64 人

(2) 教職員を表彰する事業

・奨励賞 私学永年勤続教職員の表彰

20 年勤続 53 名 30 年勤続 34 名 35 年勤続 44 名

・奨励賞 優秀教員表彰

本県私学教育の振興に寄与し、その功績が顕著な教員を表彰した 12 人

(3) 生徒及び教職員を表彰する事業

・奨励賞 福祉や奉仕活動の表彰

団体 1 校

・善行賞

個人 9 人

(4) 審査及び表彰選考委員会の開催

・第 1 回書面選考委員会 令和 5 年 12 月 6 日(水)

・第 2 回書面選考委員会 令和 6 年 1 月 23 日(火)

・書面特別選考委員会 令和 6 年 1 月 29 日(月)

8. 国際化教育を推進する事業

(1) 海外との友好交流の受け入れ支援事業

海外の学校及び関係団体等からの交流や視察の希望に対して私立学校を紹介している。

(2) 教職員の海外への派遣交流事業

新型コロナウイルスの影響および物価高騰等により事業を休止した。

9. 振興基金貸付事業

本会は、基金をもって、会員たる学校法人に対して、その設置する私立学校の施設又は設備整備のため必要とする資金及び私立学校地震対策緊急整備事業費補助を受けて校舎等を改築・耐震補強をするための資金の貸付け事業を行っている。

(1) 貸付実績

・借入れを希望した学校 1 法人に貸付を行った。(学校法人浜松海の星学院
130,000,000 円)

・令和 5 年度末貸付残高 1,881,000,000 円 (9 学校法人)

(2) 償還及び利息納入の状況

本年度の貸付金の償還は、当初予定分 161,000,000 円が償還された。

本年度の振興基金受取利息として 8,731,662 円が納入された。

償還及び利息の納入は遅滞なく行われた。

(3) 基金造成状況

特定資産＋流動資産

◎令和 4 年度末 基金資産残高 2,384,596,931 円 (2,288,065,300＋96,531,631)

会員負担金 19,584,320 円

貸付金利息 8,731,662 円

特定資産運用利息(指定) 2,751,403 円

基金普通預金利息 947 円

特定資産運用利息(一般) 468,607 円

(収入計) 31,536,939 円

事業経費支出 9,200,269 円

(支出計) 9,200,269 円

(収入計) - (支出計) = 22,336,670 円 ①
 ○令和4年度末の基金造成額 2,384,596,931 円 ②
 有価証券評価損益等 3,395,100 円 ③
 ◎令和5年度末までの基金資産残高 ①+②+③=2,410,328,701 円
 特定資産+流動資産(2,360,460,400+49,868,301)

◇ 2 <静岡県民の修学上の経済的負担を軽減するための支援事業>

1. 教職員退職資金交付事業

(1) 退職資金の交付事業

該当校	該当人数	交 付 額	備 考
校 39 (2)	人 133 (2)	円 663,256,140 (38,966,534)	1人平均交付額 4,986,888 円 平均勤続年数 12.25 年 最高交付額 19,803,000 円

※内、1校1名の令和4年度末退職者を含む

※()内は死亡退職者数で、内数である。

(2) 退職基金事業会員加入状況及び負担金の納入状況

年 度	会員数		該当学校				教職員数	
	学校法人	私学団体	小	中	高	養護	(月平均)	(延人数)
4	38	1	5	26	43	1	2,091 人	25,099 人
5	38	1	5	26	43	1	2,116 人	25,387 人

本年度納入された負担金総額は、834,318,540 円。

(3) 教職員登録状況

年次		登録者数	教職員数			計	備考
			小・中・高	養護	私学団体		
4年度末登録者数			人 2,089	人 10	人 5	人 2,131	内休職者 26 人
新規登録者数			193	1	0	194	
5年度退職者	退職資金交付者数		131	1	1	133	
	退職金未交付者数		6	0	0	6	
	計		137	1	1	139	
5年度末登録者数			2,116	10	5	2,131	内休職者 28 人

(4) 基金造成状況

◎令和5年度末基金造成額

会員負担金	834,318,540 円	退職資金	663,256,140 円
特別負担金	13,721,400 円	その他事業費(減価償却費除く)	26,358,743 円
教職員登録料	97,000 円	減価償却引当資産	2,280,000 円
県補助金	268,000,000 円	ソフトウェア取得支出	8,283,000 円
有価証券等利息	52,656,523 円		
その他利息等	445 円		
(収入計)	1,168,793,908 円	(支出計)	700,177,883 円

(収入計) - (支出計) = 468,616,025 円…………… ②

評価損益(差損△) △32,378,042 円…………… ③

○令和4年度末の基金造成額 4,179,600,816 円…………… ①

令和5年度当期収支差額 △7,149,400 円…………… ④

◎令和5年度末までの基金造成額 ①+②+③-④ = 4,622,988,199 円

(5) 資金運用委員会の開催

- ・第1回 令和5年6月28日(水)
- ・第2回 令和6年2月21日(水)

2. 退職金管理システムの改修

定年延長による継続退職金制度の施行に合わせて、令和6年2月に退職金管理システムを改修した。

◇ 収 益 事 業

1. 私学会館維持管理事業

(1) 固定資産税の免除について

固定資産税の免除の申請を行った結果、今年度も引き続き免除された。

(2) 防災・管理について

「㈱セコム」と委託契約し、防犯カメラを設置し体制を整えている。

消防設備の定期点検(年2回)を実施し、法令に基づき消防署の検査を実施した。

(3) 会館の清掃

「㈱ランブル」と年間契約し、床清掃・窓ガラス清掃・エアコン清掃を定期的に実施するとともに毎日各階の清掃を行った。

(4) エレベーターの保守点検

「㈱日立ビルシステム」と年間契約し、定期的に点検・整備を行った。

(5) 電気の保安点検

中部電気保安協会と年間契約し、定期的に保守点検を行った。

(6) 貯水槽の清掃

法定水質検査を含む貯水槽清掃及び消毒を行った。

(7) 自動ドアの保安点検

「㈱ランブル」と年間契約し「ナブコシステム㈱」が定期点検を行った。

(8) 今後の継続的な私学会館維持管理のため、会議室使用料の見直しを行った。

◇ 相互扶助事業

1. 生徒募集に係る調整事業

児童・生徒募集に係る公私立学校間の連携及び他教育機関と調整するための事業を行った。

- (1) 静岡県公立高等学校協議会等への出席
静岡県公立高等学校連絡会
第1回 令和5年7月25日(火) 第2回 令和5年10月2日(月)
静岡県公立高等学校協議会 令和5年10月20日(金)
- (2) 公立高等学校の収容計画に関する県教育委員会及び県私学振興課との連絡調整
- (3) 静岡県校長会との進路指導連絡会等の開催
東・中・西部地区別の進路指導連絡会
静岡県校長会進路指導委員会、公立小学校校長会との進路指導に関する連絡調整
- (4) 県内私立小学校、中学校及び高等学校の入試日程の決定及び入試に関する申し合わせ事項の決定
- (5) 他府県私立学校の生徒募集及び入試に関する状況調査及び連絡連携
関係資料
 - ・公立高等学校生徒受入れ計画(資料4)
 - ・令和6年度 私立中学校生徒募集に関する申し合わせ(資料5)
 - ・令和6年度 静岡県私立高等学校の入試等について(資料6)
 - ・令和6年度 静岡県私立中学校 生徒募集一覧(資料7)
 - ・令和6年度 静岡県私立高等学校 生徒募集一覧(資料8)

2. 進学相談会、私学フェア開催支援事業に対して支援する事業を行った

私立学校が地区別に開催する学校紹介のブース展示や相談会等を支援する事業を行った。

東部地区私立学校相談会	令和5年10月29日(日)	於:プラザヴェルデ
東部地区私立学校相談会	令和5年11月5日(日)	於:ふじさんめっせ
中部地区私立中学校フェア	令和5年6月17日(土)	於:グランシップ
中部地区私学展	令和5年10月1日(日)	於:グランシップ
西部地区中高一貫合同フェア	令和5年6月4日(日)	於:えんてつホール
西部地区私学合同フェア	令和5年11月3日(金・祝)	於:えんてつホール

3. 教員部会の事業

- (1) 全体会議の書面開催 令和5年6月22日(木)
- (2) 県外視察研修(中止)
- (3) 役員会の開催 令和6年3月6日(水)
- (4) 諸事業に対する協力
 <令和5年度 教員部会役員>
 部会長 福島通陽(静岡サレジオ)
 副部会長 大場潤(加藤学園暁秀)、伊藤壮一(浜松学院)、鈴木和也(浜松日体)

4. 教育活動奨励事業

児童・生徒の教育活動を奨励する事業を行っています。

- (1) 私立中学生と高校生の料理レシピコンテスト
静岡県産食材を使った料理レシピ募集し、優秀者を7件選出した。11月15日にホテルグランヒルズ静岡でこのレシピの昼食会開催し、レシピを紹介するパンフレットも作成。
- (2) 第47回静岡県私学読書感想文コンクール
応募作品数 154点 最優秀賞 6点
- (3) POP コンクール 2023
応募作品数 72点 最優秀賞 8点
- (4) ビブリオバトル交流会
8月2日(水) 於: 静岡サレジオ中学校・高等学校
参加者 46人
- (5) 第74回静岡県私学音楽祭
9月18日 藤枝順心中学校・高等学校にて開催
- (6) 第66回静岡県私学生徒美術展
2月23日~3月3日 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

5. その他私立学校の連携を支援するための事業

(1) 役員等の功労表彰

(2) 慶弔金、災害見舞金の支給

① 慶弔金の給付

教職員(結婚祝金 31 人、病氣見舞金 6 人、死亡弔慰金 2 人)

児童・生徒(死亡弔慰金 2 人)

② 見舞金の給付

教職員(火災見舞金 0 人、水害見舞金 0 人)

児童・生徒(火災見舞金 0 人、水害見舞金 1 人)

(3) 賠償責任保険等の団体保険に加入

学校管理下における事故による児童、生徒及び第三者への賠償責任を填補する保険の団体契約をしている。

保健引き受け先 損害保険ジャパン株式会社

掛金 児童・生徒一人当たり 89 円

保険期間 令和 5 年 4 月 1 日午後 4 時より令和 6 年 4 月 1 日午後 4 時まで

(4) 他団体等との連携連絡

① 静岡県私学振興議員連盟との連携

私学助成の拡充のための意見交換を行った。

<参考> 令和 5 年度静岡県私学振興議員連盟役員

顧問 杉山盛雄、鈴木利幸、小長井由雄

会長 植田徹

副会長 中沢公彦、四本康久、蓮池章平

幹事長 阿部卓也

事務局長 良知淳行

② 中央私学関係団体との連携

a) 全国私学振興会連合会、全国私学退職金団体連合会等との連携

- ・全国私学振興会連合会総会 令和 5 年 7 月 14 日(山形県)

- ・全国私学振興会連合会中部近畿合同ブロック会議

令和 5 年 9 月 14 日(富山県)

- ・全国私学振興会連合会事務職員研修会

令和 5 年 11 月 22 日(東京都)

- ・全国私学退職金団体連合会総会 令和 5 年 7 月 5 日(東京都)

- ・全国私学退職金団体連合会事務職員研修会 令和 5 年 10 月 26 日・27 日(京都府)

- ・中部 9 県私立中高協会会長会議 令和 5 年 11 月 22 日(岐阜県)

b) 日本私立中学高等学校連合会

- ・常任理事会、評議員会、協会長・事務局長会議等に参加し情報収集を行った

- ・各種調査の協力

- ・私学助成の国庫補助制度の堅持と予算増額運動に積極的協力

- ・全国生徒収容対策会議・全審連に協力

c) 一般財団法人日本私学教育研究所

- ・各種調査の協力

- ・研究会・研修会の案内、収録等の配布

d) 日本私立小学校連合会

- ・全国規模で開催している研究会等に、本県の小学校からも積極的に参加している

③ その他県内関係団体との連携

◇ 法人管理

(1) 会員の状況

令和 6 年 3 月 31 日現在の会員 38 学校法人

- (2) 役員等 理事 15 名(理事長 1 名・常務理事 3 名) 監事 3 名
- (3) 会計監査人 静岡監査法人
- (4) 理事会及び総会の開催状況
 - ・理事会 3 回
 - ・総会 2 回
 - ・決算監査会(令和 5 年 5 月 19 日)
- (5) 理事長・監事候補選衡委員会(令和 6 年 3 月 25 日)
- (6) 全国の関係諸団体との連携
 - ・全国私学振興会連合会
 - ・全国私学退職金団体連合会
 - ・日本私立中学高等学校連合会
 - 常任理事 仲田晃弘(理事長)
 - 理事 石川佳彦(常務理事)
 - 評議員 芦川清司(〃)
 - 評議員 吉永清貴(〃)
 - 監事 服部泰啓(理事)
 - ・一般財団法人日本私学教育研究所 評議員 服部泰啓
 - ・日本私立小学校連合会
 - ・日本私立学校振興・共済事業団
 - ・全国高等学校長協会 理事 鈴木啓之
 - ・全国普通科高等学校長協会 理事 鈴木啓之
- (7) 県内関係団体との連携